

CHANGE

◇ 新しい生活指導に向けて

新聞やメディアでも話題となりましたが、文部科学省が生徒指導の考え方を取りまとめた生徒指導提要が改定となりました。これに合わせて本校でも、今年度から鞆の自由化や頭髪・昼食指導の在り方など、指導方針の見直しが行われました。

改定キーワードの一つに、自己指導能力(※)があります。これまでの、理想の形を一律に守らせることで生徒に道筋を指し示す指導から、生徒自身が、保護者・地域・学校・メディアなどの情報やルールを基に、自らで下した判断することを見守り・支える指導へ。守るべき事柄が減る代わりに、守られない場面が増えることが懸念され、一人一人の自律が大切となってきます。

※ 児童生徒が、深い自己理解に基づき、「何がしたいのか」、「何をすべきか」を考えながら、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断・実行する力

◇ 日本学生支援機構奨学金 予約採用について

先日27日(木)に、説明会・資料の配布を行いました。資料に従って、検討・準備などをよろしく願います。ご不明点は、クラス担任までお問い合わせください。

◇ ボールペンに、思いを載せて

来るべき進路選択の時に備えて、早くも履歴書やエントリーシートの練習を始めています。メールやSNSなどデジタルデバイスが発達した社会にあって、高校生が作成する進路書類は、まだまだ手書きがほとんどです。

『手書きの特徴』を考えたとき、文字の情報に加え、書き手の性格や熱意が伝わるのがその一つに挙げられます。進路書類や作文では、たくさんの文字を書き綴ります。その一文字に思いを込め続けるためには、修練が欠かせません。「今ここから」始めましょう。努力が実を結ぶには、継続した努力の積み重ねが必要です。